

～映画や小説は生きる知恵と  
勇気を与えてくれる～



# 八年目の 女性学

映画とトークで、豊かな男女共同参画社会をめざして  
女性・男性が抱えている問題をほりさげ研修します。  
年齢性別問いません。無料ですのでお気軽にご参加ください。  
ご興味のある回だけの参加もできます。  
案内人は鎌田明子さんです。

## 開催内容 ～全10回～

1	5月18日(土) 14:00～	「日本における初の女性産科医・滝本イネ、荻野吟子の誕生から150年。いま問題は・・・」 人間の生き方について広く考えをめぐらすと、長年の間に浸透してきた固定観念の呪縛から解放されたいと願うことが多くなる。だがそのとき、現実に顕在する諸問題の根は深いと暗澹たる気持ちに陥ることが多い。例えば21世紀の日本で、公正であるべき大学入試に女性差別が行われているという事実を知って・・・「現実には厳しい、どうしようもないこともある」と考えてしまったら、問題の本質を見損なうことになり、差別の罪過は温存されたまま先送りにされると思いませんか？ 参考資料：VTR「シーボルトの娘滝本イネ～日本女性初の女性産科医」（関テレ制作ドラマ。50分。） ⇨新聞資料「日本の大学、医学部入試における女性差別」 VTR「加藤庸子～脳神経外科の剛腕女医」（「情熱大陸」MBS）
2	6月15日(土) 14:00～	「未来を花束にして」（2015年、英国。106分） 英国では、多くの女性たちが参政権を得るために厳しい闘争と忍耐強い運動を続けた結果、やっと女性参政権を獲得（資格は30歳以上の既婚者女性のみ）、今年100周年を祝う。当時の指導者バンクハースト母娘などと共に、人間としての当然の権利に目覚めて立ち上がった「名もなき花たち」の真実の物語。
3	7月13日(土) 14:00～	「リトル・ダンサー」（2000年、英国。110分） 1984年のイングランド北部の炭鉱町。11歳の少年ビリーはボクシングを習っているが、偶然バレエを見て魅了される。炭鉱労働者で保守的な男女観をもつ父親が、息子が踊りのレッスンを受けるのを許すはずはなかった。だが・・・感動のラストシーン、美しい！
4	9月21日(土) 14:00～	「ソフィアの夜明け」（2009年、ブルガリア。90分） ブルガリアは、社会主義体制の崩壊から、2007年のEU加盟、さらには経済のグローバル化という激動の20年間を経た。首都ソフィアを舞台に、閉塞感漂う社会に生きるある兄弟の生き方をリアルに綴るドラマ。彼らの心の彷徨の先に希望は見えるのか。

TEL/FAX 0740-22-5775

“ゆめぱれっと高島”高島市働く女性の家

受付時間：火～土曜日 9:00～21:00、日・月曜日・祝日は休館日



5	10月12日(土) 14:00~	「あん」 (2015年、日本。113分) 河瀬直美監督、トリアン助川原作。樹木希林、永瀬正敏、市原悦子。「私たちはこの世を見るために、聞くために生まれてきた。だとすれば、何かになれなくても、私たちには生きる価値があるのよ。」美味しい粒あんを炊く謎多き女性と、どら焼き店の店主や店を訪れる女子中学生などの人間模様。人間が尊厳をもって生きる姿をこの映画に見ることができる。
6	11月9日(土) 14:00~	「否定と肯定 (Denial)」 (2016年、アメリカ。110分) 「ユダヤ人虐殺はなかった」と主張する英国人男性が、2000年にユダヤ人女性の米国人歴史学者リップシュタット教授を訴えた。彼女が1993年に出版した『ホロコーストの真実—大量虐殺否定者たちの嘘ともくろみ』の中で、その男性を「ホロコースト否定論者」としていることが名誉棄損に当たるという提訴である。英国の司法制度では、提訴された側に立証責任があり、教授と弁護団はホロコーストの存在を証明しなければならなかった。全世界が注目した裁判となり、緊迫の法廷論争が見ものである。
7	12月14日(土) 14:00~	「ゆれる」 (2005年、日本。120分) 監督西川美和、オダギリジョー、香川照之、真木よう子。「あの橋を渡るまでは、兄弟でした」、「兄と僕は、どこかでつながっている、と思っていました、これまでは」。生まれた地で地道に家業を継ぐ兄と、東京に出て売れっ子カメラマンになった弟。母の一周忌に帰郷した弟と兄、幼馴染の女性に起こったある事件で、兄弟の間にかかっていたはずの橋は崩れる。
9	2月22日(土) 14:00~	「めぐりあわせのお弁当」 (2013年、インド。105分) インドの大都会ムンバイでは、家庭でつくった「出来たて」の弁当をオフィスに届ける配達業が大繁盛。600万分の1にしか起こらない配達ミスが、男やもめと孤独な人妻との偶然の出会いと心の触れ合いをもたらす。2013年カンヌ国際映画祭で観客賞を受賞。
8	2月15日(土) 14:00~	「ウインド・リバー」 (2017年、アメリカ。107分) アメリカ中西部の山岳地帯にあるネイティブアメリカンの保留地ウインド・リバー。深い雪の平原で現地の少女の遺体が発見される。心に傷を負う孤高のハンターとFBIから派遣された新人女性捜査官が、幾多の苦難に見舞われながらも心を通わせ、理不尽な殺人事件の真相にたどり着く。現代アメリカ社会が抱える闇をあぶりだしたクライム・サスペンス。
10	3月7日(土) 14:00~	「ルイーサ」 (2008年、アルゼンチン。110分) アルゼンチンの大都市ブエノスアイレス。60歳の女性ルイーサは孤独ながら猫を可愛がる生活。だが突然猫が死に、解雇にあい、質素だが安穏な日常は瓦解する。猫の埋葬費さえ無い困窮状態に陥るが、ドン底から立ち上がるルイーサの姿をユーモアたっぷりに描く。

※悪天候、その他のやむを得ない理由によって、内容を変更もしくは開催を中止することがあります。

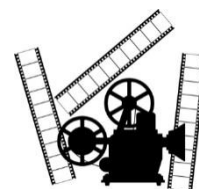
※研修参加ご希望の方は、お申し込みが必要です。

※参加費は無料です。

主催：高島市働く女性の家【NPO法人 元気な仲間】

共催：高島市男女共同参画推進協議会 “ハーモナイズ高島”

自主学習グループ(小林 斐子)



お名前		ご年齢	10代・20代・30代・40代・50代以上
ご住所	マキノ・今津・新旭・安曇川・高島・朽木・市外( )	お電話	